

令和3年度 松本市公民館主事会 事業報告

1 公民館主事研修会

公民館主事研修会として全 21 回開催し、延べ 623 人が出席した。各回の内容は次のとおり

回	日時・会場	出席者	研修内容
1	4/8(木) 13:30~17:00 中央公民館	42	<p>テーマ：令和3年度 公民館主事会の運営等及び研修計画について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育長あいさつ（赤羽教育長） 2 令和3年度行財政運営と令和3年度中央公民館重点目標について（高橋中央公民館長） 3 協議事項・役員選出 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度役員の選出及び事務局の任命 (2) 令和2年度主事会事業報告及び会計報告 (3) 令和3年度公民館主事会の運営等について 4 事務連絡 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中央公民館事務分担表について (2) 令和3年度予算について <ol style="list-style-type: none"> ア 公民館管理運営費 イ 公民館講座事業費 ウ 公民館職員のための会計事務の手引き (3) コミュニティスクール事業 (4) 町内公民館振興業務委託料について (5) 公民館委員報償費について (6) 防火管理講習について (7) 全国市長会市民総合賠償補償保険について (8) 公民館総合補償制度対応手順について (9) 長野県公民館主事研修会・総会について
2	4/下旬 ブロック研修会	37	<p>テーマ：今年度の主事研修会で取り扱う内容・テーマの提案</p> <p>各ブロックでそれぞれ担当する回の主事研修会の企画を検討する。</p>
3	5/13(木) 13:00~17:00 千曲市戸倉創造館	12	<p>県公運協主催の令和3年度長野県公民館主事研修会・総会への参加</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 総会 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度県主事会事業報告 (2) 令和3年度県主事会役員の改選／主事会活動方針／主事会事業計画 2 研修会 <ol style="list-style-type: none"> (1) テーマ 300年後に集落を引き継ぐ～震災から始まった魅力ある集落づくり～ (2) 講師 小滝復興プロジェクトチーム代表 樋口 正幸 氏
4	5/27(木) 13:30~17:00 島立公民館	31	<p>テーマ：関係法令・貸館について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 目的 社会教育法・公民館条例等の貸館の基礎となる関係法令を学び、公民館の歴史や役割、過去の判断資料等から適正な判断ができるようポイントなどを共有する。 2 事務連絡 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度の青山様・ぼんぼんについて（中央公民館 平林主任） (2) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集いについて（中央公民館 平林主任） (3) 長野県生涯学習センターについて（長野県生涯学習センター 木下所長、中田支援専門員） 3 地域情報発信（島立地区） 4 研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 関係法令・貸館について (2) グループワーク

回	日時・会場	出席者	研修内容
5	6/10(木) 13:30~17:00 波田公民館	32	<p>テーマ：公民館っぼい講座って？</p> <p>1 研修趣旨</p> <p>(1) 背景</p> <p>昨年度からの新型コロナウイルスの影響により、公民館が最も大切にする「誰でも集まり、何でも学習できる」という点を、皆さん痛感したのではないのでしょうか。また、地区公民館活動や町会活動においても、行政側からの要求により自粛したものや、住民や各種団体等の話し合いにより中止した事業も数多くあったのではないのでしょうか。結果として、地区や町会における一つひとつの社会活動に対する「必然性」が、改めて問われることにもなりました。</p> <p>一方、サークル活動はどうだったのでしょうか。当初は、自粛要請等に対して中止していた活動も、時間が経つにつれて「活動したい」との声が多く寄せられ、皆さんも利用者との話し合いの中で「どのようにしたら活動が再開できるのか」を模索してきたのではないのでしょうか。</p> <p>では、地区公民館で実施される地域事業や講座は不要なのではないのでしょうか。それとも必要なのではないのでしょうか。もっと言えば、こんな機会であるからこそ、「どのような活動を進めていくことが公民館として大切なのか」を押さえた上で、実践していく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>(2) 目的</p> <p>新任も2年目以上の職員も、これまで公民館の基本理念等について学習し、実践してきたと思います。しかし、連綿と受継がれてきた地域性(人・環境・考え方)と新住民、公民館の理念と前年踏襲で進められる地域事業・講座、公民館長と皆さんとの考え方など、様々なギャップを抱えているのではないのでしょうか。</p> <p>一方、公民館として活動を進める上で大切にしたいポイントは多数あり、共通することもあります。それぞれが実践のなかで理念等と結びつけて独自に身に付けてきたものもあるかと思えます。それは、テクニク的な面も、同様だと思えます。</p> <p>そこで、今回の研修では「講座」を切口に、企画段階・実施段階で大切にしたいポイントを皆さんの視点で探り、たくさんの「公民館っぼい」を共有し、今後の実践に活かしましょう。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 長野県公民館大会について(白板地区公民館 岩垂主任)</p> <p>(2) 第60回社会教育研究全国集会の参加について(中央公民館 平林)</p> <p>(3) フューチャーデザインについて(中央公民館 平林)</p> <p>3 研修</p> <p>(1) 話題提供 「公民館っぼい講座って？」</p> <p>(2) グループ討議</p>
6	6/24(木) 13:30~17:00 白板地区公民館	28	<p>テーマ：防災 実践編</p> <p>1 研修趣旨</p> <p>(1) 背景</p> <p>令和2年8月20日には、最新の防災情報を学ぶとともに、各地区での防災に関する取り組みをテーマに研修会を行い、各地区が取り組むべきことを検討する契機となった。</p> <p>公民館が避難所となる可能性は十分あり、主事は避難所運営に携わる職員として先頭に立つことが求められている。</p> <p>特に、防災備品については、何がどのくらいどこにあるのか、どう組み立て操作するのか、使用したことのない職員も多い。</p> <p>(2) 目的</p> <p>今回は、防災実践編と題し、防災備品の操作や組み立てを体験し、避難所の開設・運営時を想定した視点を養い、主事として避難所運営にどう携わるか考えることを目的に開催する。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 『被災者の心を支えるために』の配布(伊藤麻理氏)</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(2) PayPayと松本市の連携事業説明会（商工課、プリントショップ・ミネ） (3) 実施計画第52号デジタル公民館事業について（平林主任） 3 研修 (1) 実技演習（危機管理課） ア 局所的短所的避難所開設の手順、設営について イ ハザードマップの見方について ウ 防災備品組み立て・操作体験 （間仕切り用板ダンボール／段ボールベット／発電機の設置・使用方法・平時の点検） (2) 大手公民館要援護者優先避難所運営委員会について (3) グループワーク
7	7/上旬 ブロック研修会	36	テーマ：他自治体交流研修の視察地検討 等 主事会全体での県外視察研修に代わる他自治体との交流・研修の意義を可帰任し、視察交流先を検討し、幹事会での検討案とする。
8	7/15(木) 13:30～17:00 中央公民館	24	テーマ：知っていますか？性の多様性 1 趣旨 (1) 背景 性別にとらわれることなく、一人ひとりがかげがえのない個人として尊重され、多様な性や生き方を認め合い、自分らしく暮らしながら、個性や能力を発揮できる社会の実現に向けて、性的マイノリティへの理解が必要ではないか。 (2) 目的 性の多様性を尊重する社会の実現に向けて、主事として性的マイノリティへの理解を深める。 また、人権啓発推進委託事業費の目的や他地区の情報を共有することで日頃の業務の参考とする。 2 事務連絡 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い（公民館研究集会）について（中央公民館 平林） 3 地区情報発信（安曇地区） 4 研修 (1) 話題提供「知っていますか？性の多様性」（人権共生課） (2) グループワーク
(9)	コロナ禍のため中止 8/12(木) 13:30～17:00 中央公民館 ※公民館だより等の実物を部屋に掲示してワークを行うため対面開催が必須であることから延期。のち中止	32	テーマ：公民館の広報活動について 1 趣旨 (1) 公民館報（地区版）と公民館だよりは、市内全館に共通する公民館広報の主たる情報媒体である。いずれも、地区の特色がその目的や機能として表れる傾向があり、各館において趣が異なる。 ところが、日頃の業務においては、発刊された他所の広報物を目にすることはあっても、制作に関する過程や具体的な手法について意見交換をしたり、学習したりする機会が乏しい。 (2) 目的 自治体広報についての先行研究を手がかりに、あらためて各館における広報活動の特徴を知ったうえで、自地区の課題や要請に顧みられた公民館広報のあり方について学ぶ機会としたい。 2 10分間地域情報発信（鎌田地区公民館 川西主事） 3 研修 (1) 自治体広報に関する研究の紹介 ア 自治体広報に求められること イ 評価・改善方法 (2) 公民館報&たよりコンテストについて ア 審査基準及び投票方法の説明

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(3) 公民館報について ア 公民館報とは イ 歴史と方向性 ウ 地区版の現状と課題（グループワーク） (4) 公民館だよりについて ア 基本編 ー媒体特性等（G.W.有） イ 実践編 ー講座記事の作成例 (5) 公民館報&たよりコンテスト結果発表 ア 上位入賞館の発表とレビュー及びインタビュー
9	8/26(木) 13:30～17:00 コロナ禍のためオンライン(ZOOM)開催に変更	32	テーマ：松本版コミュニティスクール 1 趣旨 (1) 背景 松本版CS事業は、学校と地域が連携・協働しながら、子どもたちを地域全体で見守り育てる地域づくりを目指して、地域の中でしか体験できないことを学ぶ貴重な機会とすることを目的としている。一部のボランティア参加に留まらず、地域全体で子どもを育てるために地域住民の主体的な参加を促すための仕組みづくりが必要ではないか。 (2) 目的 各地区で行われているCS事業の運営状況や事業内容は様々であり、良い取り組みについて、その情報を共有することで、今後の自館でのCS事業に活かすことを目的とする。 2 事務連絡 (1) 地域づくり推進に向けた公民館の位置付けについて(中央公民館 高橋館長) (2) 第3次地域づくり実行計画の策定について(地域づくり課 床尾係長) 3 地区情報発信(松原地区) 4 研修 (1) 話題提供 松本版CS概要と今後の展開について(中央公民館) (2) 事例発表① 明善中CSプロジェクトの取り組みについて(中山公民館) 事例発表② 寿小学校CS里山体験学習について(寿公民館) (3) 質疑応答 (4) 全体討議
10	9/9(木) 13:30～17:00 コロナ禍のため研修を中止、事務連絡及協議事項のみとしオンライン(ZOOM)開催 ※元の研修テーマは「公民館講座のつくり方実践編」。模造紙ワークのため、対面開催が必須のため中止	30	事務連絡及び協議事項のみ 1 事務連絡 (1) 地域づくりセンター長研修会「公民館機能について」報告について(中央公民館 高橋館長) (2) 携帯電話キャリアとのスマホ講座共催について(笹賀公民館 加藤主任) (3) 貸館判断について(入山辺公民館 吉田主事) (4) 各地区における三九郎の実施について(中央公民館 平林主任) (5) 日本公民館学会松本大会の開催について(中央公民館 平林主任) (6) 【新型コロナ対策】公民館利用者名簿作成・保管の注意点(再周知)(中央公民館 平林主任) (7) キャッシュレス決済の試行(9月補正予算)について(中央公民館 平林主任) 11月から中央公民館及び市民課でPayPay決済を試行 3 協議事項 (1) 【新型コロナ対策】公民館主事会・幹事会の開催手段について(浅井幹事長) (2) DX戦略作成について(中央公民館 平林主任) ※ブレイクアウトセッション 社会のDX「可能性を広げる新しい学びへの挑戦」についてアイデア出し
11	9/16(木) 13:30～15:00 オンライン(ZOOM)開催	37	第69回長野県公民館大会(オンライン開催) コロナ禍のため、当初大町市文化会館を会場に、全体会のみ短縮開催を予定していたが、コロナ禍の状況を鑑み、基調講演のみオンラインで開催 基調講演「長野県発 宇宙の旅 ～つながっている宇宙・社会・いのち～ 講師国立天文台 天文情報センター 縣 秀彦氏

回	日時・会場	出席者	研修内容
12	10/28(木) 13:30~17:00 中央公民館	30	<p>テーマ：食品衛生と感染症対策</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 新型コロナウイルスの世界的な流行により公民館活動も制限を余儀なくされたが、ワクチン接種や各種対策により、対応を模索しながらも活動が戻りつつある。その一方で、従前からインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症対策や食中毒の予防等を行う必要もあり、コロナ収束後も対応が必須となる。 また、1～2年目の主事はコロナによる事業中止の影響で、出店に係る食品衛生等の届出の基準や手続きを熟知していない職員が多いと思われる。他地区の講座の評価、検証を共有し、うまくいった講座はその要因や発 展を考えることで自地区での新しい講座のヒントとする。また、うまくいかなかった講座はその原因や改善策を考えることで、自地区で同じ轍を踏まないよう対策できる。</p> <p>(2) 目的 公民館の館管理や事業実施の上で必要となる食品衛生、感染症対策についての研修を行い、正確な知識を習得するとともに、届出等の事務についても整理し、今後の公民館活動に活かすことを目的に開催する。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 「書面主義・押印原則・対面主義」に基づく慣行（手続）の見直しに向けた今後の対応について</p> <p>(2) 社会教育主事講習の参加について</p> <p>(3) 全国公民館セミナーの参加について</p> <p>(4) 金沢大学学生による青山様・ぼんぼんの調査協力について</p> <p>(5) 令和4年度長野県公民館運営協議会事業日程について</p> <p>(6) 松本市芸術文化祭の周知について</p> <p>(7) 日本公民館学会松本研究大会（12月4・5日）について</p> <p>(8) 主事会プロジェクトの設置について</p> <p>ア 貸館・公民館デジタル化チーム イ 町内公民館振興・支援チーム</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い世話人決め</p> <p>(2) 貸館判断について</p> <p>4 10分間情報発信（岡田地区）</p> <p>5 研修</p> <p>(1) 食品衛生について（食品・生活衛生課）</p> <p>(2) 感染症とその対策について（保健予防課）</p> <p>6 グループ討議</p>
13	11/11(木) 13:30~17:00 中央公民館	27	<p>テーマ：松本市民館が大切にしてきたこと～公民館の歩みと生涯学習計画から考える～</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 現在、松本市の地域づくりシステムは、公民館（S22）・福祉ひろば（H7）・地域づくりセンター（H26）という流れのなかで、各地区の地勢や変遷を踏まえながら35地区独自の地域づくりが展開されています。 一方、今年度から4地区をモデル地区に設定した取組みを展開していますが、果たして公民館が持つ機能は生かされているのでしょうか。例えば、「何でも学習できる」「誰とでもつながれる」という視点から、様々な住民が公民館とつながる。また、「この指とまれ方式」といったスタンスの自由な学びや交流から、小グループのコミュニティーや活動が展開される。「自分」を持った住民が形成され、「地域（公民館）」という舞台で悩みや問題、思いや考えが共有されていくなかで地域が創られていく等、改めて各地区の地域づくりのなかで、問う必要性があるのではないのでしょうか。</p> <p>(2) 目的</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>平成6年に策定された松本市生涯学習計画は、当時行政側で策定することが多いなか、市民と職員が真剣に討議を積み重ねて辿り着いたものです。</p> <p>その過程で、本市公民館や様々な市民活動が掘り起こされ、公運審なども巻き込みながら、改めて「松本市の公民館」というものが確認された機会でもありました。</p> <p>今回、策定に関わり現在も実践者として活動を続ける手塚英男さんから、これまでの公民館の歩みや生涯学習計画策定の過程等についてお話いただくなかで、「公民館が大切にしてきたこと※1」について共有します。</p> <p>その後のグループワークでは、共有したことを「現在の地域づくりにおける公民館」という視点から捉えなおし、今後へ活かすべきポイント(=公民館の機能)を確認します。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い 分科会運営委員会について</p> <p>(2) 日本公民館学会松本研究大会への参加について</p> <p>3 10分間情報発信(新村地区)</p> <p>4 研修</p> <p>(1) 話題提供「松本市公民館の歩みと松本市生涯学習計画策定に携わって」 手塚 英男 氏</p> <p>(2) 要点整理</p> <p>(3) グループ討議「各地区の地域づくりで公民館のポイント(機能)は生かしている!？」</p>
14	11/25(木) 13:30~17:00 城北公民館	21	<p>テーマ：次世代の担い手について</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景</p> <p>町会役員や公民館委員等に若い世代に関わってもらうことは、持続的な地域づくりのために不可欠である。</p> <p>ところが、少子高齢化が急速に進展する中、定年延長や共働き世帯の増加、習い事や余暇の過ごし方の変化等、仕事や生活全般が多様化している。また、特に若者の中には、町会行事や人との繋がりに煩わしさを感じる人が見られる等、地域との関係の希薄化が進んでいる。こうした中で、若い世代に、地域づくりに関わってもらうことが難しくなっている。</p> <p>(2) 目的</p> <p>館報全市版編集委員や地域づくり活動に関わっている大学生、若者との地域づくりに取り組んでいる行政の立場から、参加の背景や参加した感想等のお話を聞き、若い世代に地域づくりに興味を持ってもらい、参加してもらうにはどうしたら良いのかを考える機会とする。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い(公民館研究集会)について</p> <p>(2) 日本公民館学会松本研究大会について</p> <p>3 10分間情報発信(中央地区)</p> <p>4 研修</p> <p>(1) 事例発表(各5~10分程度)</p> <p>ア 芳川地区地域づくりセンター 坂上課長補佐 イ 地域づくり課 ユースサポート担当 小山事務員 ウ 公民館報全市版編集委員 工藤太陽 氏</p> <p>(2) パネルディスカッション</p> <p>(3) 質疑応答</p> <p>(4) 休憩・移動(グループワーク会場を館内で分散)</p> <p>(5) グループワーク発表者 3名も参加</p>
15	12/5(日) 長野県生涯学習推進センター 14:30~16:00	25	<p>日本公民館学会松本研究大会 開催地企画</p> <p>令和2年度に開催予定であった松本研究大会が、コロナ禍のため1年間延期となり、令和3年12月4日・5日に開催した。4日はオンライン開催。5日はハイブリット開催で、長野県内の参加者はセンターまたはオンライン参加、県外参加者はオンライン参加した。</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>開催地企画テーマ 長野県の公民館の特性や到達点を踏まえた、これからの公民館と公民館職員の在り方</p> <p>コーディネーター 松本大学教授 白戸 洋 氏</p> <p>パネリスト 松本市島内地区地域づくりセンター長 勝家 隆 氏 塩尻市中央公民館主事 安藤 寿秀 氏 栄村公民館主事 島崎 佳美 氏</p> <p>コメンテーター 松本大学教授 松田 武雄 氏 京都府立大学教授 築山 崇 氏 長野県生涯学習推進センター所長 木下 巨一 氏</p>
16	12/23(木) 13:30~17:00 中央公民館	32	<p>テーマ：「公民館デジタル化計画」</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 「書面主義・押印原則・対面主義」に基づく慣行（手続）の見直しに向けた調査で、「オンライン手続と書面手続の併用」とした講座申込やアンケート提出などの手続きについては、電子申請を活用することが求められている。 また、手続きのオンライン化を進めるにあたっては、スマホ講座の実施などでデジタルデバインド解消のための取組みと併せて進めていく必要がある。</p> <p>(2) 目的 各館で講座申込やアンケート提出などオンライン化を進めていくため、電子申請の使い方・活用方法を学ぶ。併せて各館のデジタルデバインド解消のための取組みを共有することで、公民館デジタル化を進めていく。</p> <p>2 10分間情報発信（今井地区）</p> <p>3 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 日本公民館学会松本研究大会の所感について (2) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い（公民館研究集会）について (3) 公民館主事会プロジェクトの進捗について (4) 令和4年度利用者団体登録の手続きオンライン化について (5) 町内公民館長会作成の研修動画の地区町内公民館長会での上映依頼について</p> <p>4 研修</p> <p>(1) DX・電子申請・デジタルデバインドについて（DX推進本部） (2) 実践事例①「スマホ体験講座」（安曇公民館田） ②「教えて！スマホの使い方」（松原地区公民館） (3) グループワーク</p>
17	1/13(木) 13:30~17:00 コロナ禍のため、オンライン(ZOOM)開催	34	<p>テーマ：社会教育施設に関わる紛争</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 社会教育施設の運営にかかる根拠法令としては、差し当たり社会教育法が主であるが、現実の運用においては、同法解釈の齟齬による不合理が生じている。 中でも施設使用に関する処分決定（貸館）は、しばしば争点となり、実際の争訟に発展するケースもある。 施設の運営に従事する公民館主事がこれらの係争についてその事実関係や判例を学習する要請は大きいと考えられる。</p> <p>(2) 目的 上記問題意識に基づき、施設使用許可（社教法23条、憲法21条等）及び営造物責任（国賠法2条等）を中心とする判例を専門家に解説してもらい、司法判断を参考に実務的見地から公民館の適正運営について主事間で検討する。</p> <p>2 中央公民館長、幹事長あいさつ</p> <p>3 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い（公民館研究集会）について (2) 公民館報のデジタル配信について</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(3) 庁用バスの一斉予約（2月1日～）について (4) 「公民館のこれから講座」の周知及び参加について 4 10分間情報発信（鎌田地区 川西主事） 5 研修 (1) 社会教育施設における争訟と判例(村田法律事務所 村田 英幸 弁護士) ア 施設使用許可に関するもの イ 営造物責任に関するもの ウ 公民館業務における法律相談（事前質問） (2) 質疑応答 (3) グループワーク
18	1/27(木) 13:30～17:00 コロナ禍のためオンライン(ZOOM)開催	32	テーマ：「第3次松本市教育振興基本計画」および「第3次松本市地域づくり実行計画」への理解を深める（共に令和4年4月～施行） 1 趣旨 (1) 背景 共に令和4年4月から施行される第3次松本市地域づくり実行計画と第3次松本市教育振興基本計画について、前計画からの変更点をはじめ理解を深める場としたい。特に新しい教育振興基本計画では、公民館を中心とした学びによる地域づくりが位置付けられ、地域づくり実行計画でも住民自治力と人材育成の両面で公民館が求められる役割は大きい。新年度に向け両計画への理解を深める必要がある。 (2) 目的 先の主事会にて生涯学習課高橋課長、地域づくり課床尾係長よりそれぞれご説明いただいた内容に加え、教育振興基本計画を所管する教育政策課の職員より新計画の説明を受け、令和4年度の新計画において公民館主事がどういった役割を求められ、また地区住民と協働しどういった地域づくりを進めていくべきか再認識する契機としたい。 2 事務連絡・協議事項 (1) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い（公民館研究集会）について (2) 公民館報のデジタル化の検討結果について (3) 新型コロナウイルス感染症対策の対応について (4) 庁用バスの予約・使用のあり方について (5) 前回主事研修会を受けた貸館判断について（自由協議） 3 10分間情報発信（寿台地区） 4 研修 (1) 話題提供 第3次松本市地域づくり実行計画(地域づくり課) 第3次松本市教育振興基本計画(教育政策課) (2) 質疑
19	2/10(木) 13:30～17:00 コロナ禍のためオンライン(ZOOM)開催	31	テーマ：中央1ブロック歴史ウォークラリー 1 趣旨 (1) 背景 近年の主事研修はどちらかと言えば座学が中心で、実際に外に出て活動する体験型の研修が少ない。公民館の事業参加を増やす手法として、様々な経験が必要である。 (2) 目的 公民館の事業参加を増やす一つの手法として実際にウォークラリーを経験し、地区内再発見に役立てる一助とする。また、道中でもぎっくばらんに主事同士で会話をすることで、主事間の親睦や各地区の情報共有を図る。 2 事務連絡・協議事項 (1) 『世界の料理 いろいろ(仮)』について (2) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い（公民館研究集会）について (3) 町内公民館振興業務委託について ア 報告書について イ 主事会プロジェクトについて

回	日時・会場	出席者	研修内容
			3 10分間情報発信（城東地区） 4 研修 (1) 事例発表 中央1ブロック歴史ウォークラリー 企画のプロセスについて (2) グループワーク（60分） ア 本日のウォークラリーに対する所感 イ 各地区で行っている公民館講座情報の共有 ウ 現状における悩み共有（コロナ、庁用バスなど）
20	3/10(木) 13:30～17:00 四賀公民館	26	テーマ：「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」の総括 1 趣旨 (1) 背景 新型コロナウイルスの影響により令和2年度のまちづくりの集いは一部開催となり、令和3年度は開催方法を変更して開催された（分散開催、テーマ設定方法の変更）。初めて集いを経験した主事も多いため、集いの意義の再確認と次年度に向けた検証が必要と思われる。 (2) 目的 社会教育・公民館に求められる役割と実践事例など、研修報告をふまえて、「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第37回公民館研究集会地域づくり市民活動研究集会～」を総括し、これからの地域づくりや公民館の役割を展望する。 2 事務連絡・協議事項 (1) 長野県生涯学習推進センターからのお知らせについて ア 塩尻市公民館活動報告会 イ アフタフバーン信州 (2) 令和4年度当初開始予定の利用団体登録のオンライン申請対応について (3) デジタル活用支援事業相談員育成研修について 3 10分間情報発信（本郷地区） 4 研修 (1) 社会教育主事講習受講者の研修報告・質疑応答 (2) 「まちづくりの集い」の検証と次年度へ向けての討議 ア 報告・解説【30分】（幹事長、集会事務局） イ グループ討議（分科会ごとに）
21	3/24(木) 13:30～17:00 第三地区公民館	29	テーマ：中央1ブロック歴史ウォークラリー(実践)／令和4年度主事研修会について 1 趣旨 (1) 背景 近年の主事研修はどちらかと言えば座学が中心で、実際に外に出て活動する体験型の研修が少ない。公民館の事業参加を増やす手法として、様々な経験が必要である。 年度末に差し掛かり、1年間主事研修会に各主事が携わってきた中で、あらためて学びたいことや学んでおいた方が良かったことが見えてくる時期である。 (2) 目的 公民館の事業参加を増やす一つの手法として実際にウォークラリーを経験し、地区内再発見に役立てる一助とする。また、道中でもぎっくばらんに主事同士で会話をすることで、主事間の親睦や各地区の情報共有を図る。 あらためて「主事研修会」について各主事が考える機会とし、来年度の主事研修会がより充実した物になるように道筋を作る。 2 事務連絡・協議事項 (1) 団体登録のオンライン手続き開始に伴う全登録団体へのID発行(検討中)について

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(2) 新ホームページの編集作業について 3 研修 (1) 中央1ブロック歴史ウォークラリー(フィールドワーク) (2) 令和4年度主事研修会について

※ コロナ禍のレベルが高い時期にも、オンラインを活用するなどし、工夫して開催した。

2 幹事会

全12回の定例幹事会を開催し、主事研修会の企画等を協議・検討した。

コロナ禍対策と移動負担の軽減のため、6月以降はオンライン(ZOOM)で実施した。

<主な協議事項>

4/2	令和2年度の主事会・幹事会の運営等	10/4	主事研修会企画
5/6	主事研修会(前期)企画	11/1	主事研修会企画
6/7	主事研修会企画	12/6	主事研修会企画
7/5	主事研修会企画	1/4	主事研修会企画
8/2	主事研修会企画、主事研修会(後期)企画	2/7	主事研修会企画
9/6	主事研修会企画	3/7	主事研修会企画、令和4年度の主事会計画案

3 県・中信公運協関係、合同研修会など

- (1) 5/12 令和3年度長野県公民館主事研修会・総会(千曲市戸倉創造館/第3回主事研修会)
- (2) 9/16 第69回長野県公民館大会(オンライン開催/第11回主事研修会)
- (3) 12/5 日本公民館学会松本研究大会(第15回主事研修会)
- (4) 2/20 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い~第37回公民館研究集会 令和3年度地域づくり市民活動研究集会~ 会場分散化及びYouTube・ZOOMを活用しハイブリット開催

4 その他(親睦事業など)

新型コロナウイルス感染症の影響により、実施せず